

“街道テクテク・甲州道中” No.2 (2018-10-21)

参加者：芦田拓也、荒木義修、碓貴臣、大田黒鐵彦、太田哲夫、後藤幸子、佐熊範和、染谷みどり、高野泰三郎、政芳一、黛政男、三木和幸、水越正孝、矢崎文彦、山岸任、山口健三、横山修一、木村芳一

行程：新宿→つつじヶ丘 13km

新宿→天満宮（樹齢 300 年の箒銀杏）→諦聴寺（木像・聖徳太子立像）→正春寺（将軍秀忠の乳母“初台の局”の菩提寺）→旗洗池跡碑→子育て地藏尊→清岸寺（酒呑地藏）→牛窪地藏尊・道供養碑→笹塚の一里塚跡→庚申塔→代田橋跡→大原稻荷神社→和泉地藏尊→塩硝蔵地跡（明治大学和泉校舎横、江戸時代の塩硝蔵）→和田堀廟所（築地本願寺廟所、樋口一葉等の墓）→覚蔵寺→崇源寺→大橋場跡→せたがや百景標石→つつじヶ丘の魚民にて反省会→つつじヶ丘駅

・天気は良好で、歩き日和であった。後半、頑張ったので、歩行距離が伸びた。

・今回、歩いた沿道のいくつかの場所名の由来（単純であるが）を知ることができた：

初台（将軍秀忠の乳母“初台の局”）、

幡ヶ谷（八幡太朗義家が、今は無い旗洗池で白旗を洗い、松に掛けて乾かした）、

笹塚（塚が笹で覆われた）、

高井戸（崇源寺の不動堂はかつて高台にあつて高井堂と呼ばれた）

・神社仏閣が非常に多かった。特に、高い建物の横にあり、箒を逆さにしたような樹齢 300 年の箒銀杏がそびえている小さな天満宮、ビル内に収められた小さな祠である子育て地藏、コンクリートのお堂に鎮座した牛窪地藏等の極めてこぢんまりとした神聖な場所が高い建物群の谷間にあり、手を合わせる場所となっている。現代でも極めて大切な場所として維持されていた。

（木村芳一）

